



佐伯発、元気な企業と働く人々をご紹介します。
今回は水産養殖の研究所で
飼育補助と研究支援を担う臨海研究株式会社。



臨海研究株式会社

住所：佐伯市鶴見
大字有明浦508-8
電話：33-1405
FAX：33-1404

代表者：塩谷 格
設立年月：1992年11月
資本金：1億2,300万円
売上高：8,368万円
従業員数：32人

ヒトと企業

イキ・な佐伯の

VOL.12

生き物と触れ合いながら、研究員を支援

—どんな仕事をしてる？—

多田さん(以下㊟) 実験器具のピ
ペットを使いながらDNA分析を
して、そこから得たデータを蓄積し
ています。分析を終えた魚はエタ
ノールに漬けて、サンプルとして保
管しています。

佐倉さん(以下㊤) 私はブリ親魚や
試験に使う小さな魚を飼育してい
て、研究員さんの指示で餌を与え
たり、水槽を清掃したりしています。
赤崎さん(以下㊦) 総務担当なの

ニッスイの研究業務を全力サポート

—臨海研究とは？—

日本水産株式会社の中核研究所大
分海洋研究センター(以下、セン
ター)内にあり、研究者をサポート
する様々な業務を行っています。水
槽と生け簀にはブリをはじめ、カン
パチ、マガコ、バナメイエビ、クロマ
グロを養殖しており、飼育補助ス
タッフが餌やりや清掃をします。研
究支援スタッフはDNA分析やデー
タ管理、サンプル管理などで研究を
支援。「生き物が好き」観察が得意
な人が生き生きと働ける職場です。

—高品質なブリの家系を育てる

一年を通して水温帯が安定してい
る佐伯市は、養殖に適した海と

言えるでしょう。センターが特に
力を入れているのがブリの養殖で
す。人工種苗に関する研究を続
けており、これまでに採卵技術
や種苗(注1)生産技術を確立し、
早期採卵種苗の事業化に成功。
さらに、高品質なブリの家系を
育種(注2)することで、年間
を通して良質な完全養殖ブリの
出荷ができるようになりました。

—水産業の発展に貢献する

日本水産は水産資源の新しい価値
を創り出し、国内外で事業を展開
しています。臨海研究のスタッフの
目標は、研究者の業務のサポート
を通じて、水産業の役に立つこと。
研究者とともに、皆さんの食生

活が豊かになるように努めていき
ます。

(注1)稚魚
(注2)生物の持つ遺伝的形質を利用し
て改良し、有益な品種を育てること

—会社のことが好き

で、健診の手配や窓口対応、人事、
経理といろんなことをしてい
ます。

㊟ 子育てと仕事の両立がしやすい
職場環境。子どもを育てている人も
段落している人もいるから、悩みがあ
るときに相談できて助かっています。

㊤ 私は研究員さんと魚の話をする
のが楽しいですね。「どうして、こ
ういう泳ぎ方なの?」「どんな研究
に繋がっているの?」こういう質問に
きちんと答えてくれるんです。

㊦ 職員同士、仲が良いですね。ニッ
スイの研究員さんとも「コミュニケー
ションがとれているし、ウォーキン
グ大会ではチームに分かれて競い
あったりして親睦を深めました。

—入社して気付いたこと

㊟ 研究員さんは何でも教えてく
れるし、根気強く付き合ってくれま
す。魚のこと、単位、器具、試薬と覚

多田真衣さん
入社7年/研究支援



佐倉美奈さん
入社1年/飼育補助



赤崎小百合さん
入社5年/総務



えることがいっぱい。もっと学んで、
研究が進むように支援していきたい
ですね。

㊦ 勤務中は様々な魚の飼育管
理を行うので、業務に飽きること
がありません(笑)

㊦ 健康診断やインフルエンザ予防
接種は全額負担してくれるし、福利
厚生が充実しています。職員の個性
を尊重しながら意思疎通をしっか
り取って、働きやすい環境を作っ
ていきたいです。

小粋な TOPICS

スタッフいちおし佐伯スポット 元越山



九州百名山に選定されていて、国
木田独歩もこよなく愛した山とし
て知られています。登山道が整備
され、頂上からは四国の山々や
豊後水道など360度パノラマで
美しい風景が眺められます。

